

## 生物環境学分野

### 論文

#### A 欧文

##### A-a

1. Kawada H. Possible New Controlling Measures for the Pyrethroid-Resistant Malaria Vectors. *Annals of Community Medicine and Practice*, 3 (1), 1019, 2017 (IF: None)
2. Kawada H. Potential control measures for pyrethroid-resistant malaria vectors. *Acta Horticulturae*, 1169, 59-72, 2017 (IF: None)
3. Komagata O, Higa Y, Muto A, Hirabayashi K, Yoshida M, Sato T, Nihei N, Sawabe K, Kobayashi M. Predicting the Start of the *Aedes albopictus* (Diptera:Culicidae) Female Adult Biting Season Using the Spring Temperature in Japan. *Journal of Medical Entomology*, 54 (6), 1519-1524, 2017 (IF: 1.650)
4. Oo SZM, Thaug S, Maung YNM, Aye KM, Aung ZZ, Thu HM, Thant KZ, Minakawa N. Effectiveness of a novel long-lasting pyriproxyfen larvicide (SumiLarv@2MR) against *Aedes* mosquitoes in schools in Yangon, Myanmar. *Parasites & Vectors*, 11 (16), 2017 (IF: 3.225)
5. Ikeda T, Behera SK, Morioka Y, Minakawa N, Hashizume M, Tsuzuki A, Maharaj R, Kruger P. Seasonally lagged effects of climatic factors on malaria incidence in South Africa. *Scientific Reports*, 7 (1) :2458, 2017 (IF: 4.847)

#### B 邦文

##### B-a

1. 角田隆：冬季の下北半島におけるカモシカマダニの人体刺症例. *衛生動物* 68 (3) : 119-120, 2017 (IF: None)

##### B-c

1. 川田均：12章 蚊の行動を制御する現象 誘引と忌避. (日本昆虫科学連合(編集):招かれない虫たちの話:虫がもたらす健康被害と害虫管理, 東海大学出版部. pp163-178, 2017
2. 比嘉由紀子：第9章 蚊の調査法.(上村清(編集):蚊のはなし 一病気との関わり一) 朝倉書店. Pp119-128, 2017

### 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	1	3	0	3	17

### 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
皆川 昇・教授	理事	ICIPE
皆川 昇・教授	幹事	日本衛生動物学会
皆川 昇・教授	支部会長・運営委員	日本衛生動物学会・南日本支部
川田 均 ・准教授	International Advisory Board	The Iranian Society of Medical Sciences, Iran
川田 均 ・准教授	幹事	日本衛生動物学会
川田 均 ・准教授	運営委員	日本衛生動物学会・南日本支部
川田 均 ・准教授	殺虫剤研究班委員長	日本衛生動物学会
川田 均 ・准教授	理事・評議員・企画委員	日本環境動物昆虫学会
川田 均 ・准教授	Japanese Regional Director	The Asian Society for Vector Ecology and Mosquito Control

川田 均 ・准教授	利益相反委員長	日本衛生動物学会
川田 均 ・准教授	JIS 開発委員	日本化学繊維協会
砂原俊彦・助教	運営委員	日本衛生動物学会・南日本支部
砂原俊彦・助教	編集委員	日本熱帯医学会
比嘉由紀子 ・助教	庶務委員	日本衛生動物学会南日本支部
比嘉由紀子 ・助教	自然史学会連合連絡委員	日本衛生動物学会
比嘉由紀子 ・助教	編集委員	年有害生物管理学会
二見恭子・助教	ICIPE 協会連絡委員	日本衛生動物学会
二見恭子・助教	庶務委員	日本衛生動物学会南日本支部

### 競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
皆川 昇・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）	分担	感染症研究国際展開戦略プログラム：ベトナムにおける感染症制御研究・開発プロジェクト
皆川 昇・教授	独立行政法人科学技術振興機構	代表	国際科学技術共同研究推進事業・地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム：「南部アフリカにおける気候予測モデルをもとにした感染症流行の早期警戒システムの構築」
皆川 昇・教授	Global Health Innovative Technology Fund (GHIT)	分担	Development of a fully automated malaria diagnostic system and field evaluation for practical use
皆川 昇・教授	住友化学株式会社	代表	殺虫剤デリバリー技術の野外評価系および半野外評価系の構築
皆川 昇・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金・基盤研究（A） 「ビクトリア湖島嶼マラリア撲滅：プリマキン使用による集団治療とヒト・原虫多様性」
川田 均 ・准教授	アース株式会社	代表	蚊取り剤の開発研究
川田均 ・准教授	アース株式会社	代表	殺虫剤抵抗性研究
川田均 ・准教授	一般財団法人カケンテストセンター	代表	吸血昆虫の人工飼育方法の研究
川田均 ・准教授	日本学術振興会	分担	疾病媒介蚊の殺虫剤抵抗性獲得メカニズム解明
砂原俊彦・助教	日本学術振興会	分担	ハマダラカ唾液抗体価を指標とした「マラリア感染危険度」評価法の開発
比嘉由紀子 ・助教	国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）	分担	新興・再興感染症を媒介する節足動物の対策に関する研究

## 特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
川田 均 ・准教授	防虫性試験装置および防虫性試験方法	2016.12.27	2017.9.1	特許第 6200126 号